

あけまして おめでどうばんざい、します

町長 徳 永 哲 雄



新年、あけましておめでどうございます。
町民の皆さまにおかれましては、平成29年の新春を晴れ晴れしい気持ちでお迎えのこととお喜びを申し上げます。
旧年中は、町政に対しまして格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
特に昨年は、11月に弟子屈町長選挙が行われ、12月24日より町政5期目のスタートを切らせていただくことができました。
就任当初の気持ちを忘れることなく、安心・安全なまちづくりを目指し、町政運営に努めていく覚悟でありますので、今後ともご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。
さて、昨年を振り返りますと、さまざまな出来事がございます。中でも、アメリカ合衆国大統領であるバラク・オバマ氏が広島を訪問し「広島平和記念公園」でスピーチを行いました。現職の大統領が原爆の投下された都市へ訪問されたのは初めてのこと、歴史に残る日となったことは記憶に新しいと思います。

スポーツでは、南米初のリオデジャネイロ五輪が開催され、日本勢においては過去最多となる41個のメダルを獲得。2020年に開催される東京五輪に向け期待を膨らませる成果となりました。
本町におきましては、小・中学生、高校生が全道・全国の各種スポーツ大会において優秀な成績を残されたほか「全道中学校かべ新聞コンクール」では、弟子屈中学校1年B組の作品が大賞に輝くなど、多方面で活躍される1年でした。
一方、基幹産業では、仁伏地区に㈱オリエンタルランドが温泉熱を利用したイチゴ栽培施設を建設し、地元雇用などが大いに期待されるほか「全道道の駅連絡会総会・シンポジウム」が本町で開催され、高橋はるみ知事をはじめ道内外から1千300人の参加をいただいたことができました。「道の駅摩周温泉」の施設および管理について高い評価をいただくなど、本町にとって明るいニュースとなりました。
反面、昨年は4月の熊本地震をはじめ度重なる台風の上陸など、全国各地で大きな災害が発生しました。8月に北海道を襲った、台風7号をはじめとする連続した大型台風および停滞前線では、道内各地に大きな被害が発生したところであり、被災された皆さまには心よりお見舞いを申し上げます。
この台風では、本町においても、初めてとなる「避難準備情報」を発表する事態に見舞われました。特に、本町の主要産業である観光と農業においては、入り込み客の減少、作物の生育に影響が及ぶなど、自然の猛威に対する備えの重要性について、あらためて痛感した年でもありました。
本年におきまして、観光では、国立公園の名称が「阿寒国立公園」から念願であった「阿寒摩周国立公園」に改称される見込みとなりました。さらに、環境省が進める国立公園満喫プロジェクトの事業地域に選定されたことから、川湯温泉を中心とした街並み、景観整備を強力に要請するとともに、地熱を利用した新たなエネルギーの活用、訪日外国人を含む観光客の誘致などを積極的に推進してまいります。
農業では、災害などに強い農業基盤の整備はもとより、生産コストの低減などさまざまな課題がございますが「摩周和牛」や弟子屈産ブドウによるワイン「葡萄酒色の旦(えびいろのよあけ)」を含め、農業生産物のブランド化、6次化、

町議会 議長 八幡 豊 行



町民の皆さま、あけましておめでとうございます。
平成29年の新春を迎えるにあたり、町議会を代表し、謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。
皆さまにおかれましては、ご家族おそろいで新年をお迎えになられたことを、心よりお喜び申し上げます。また、日頃から町議会に対する格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、本町に目を向けますと、基幹産業の一つであります農業では、酪農は乳生産量が若干減少したものの畜肉販売が好転し、酪農関係全体としては良い状況となりました。畑作においては、徐々に作付面積を増やしてきている大豆の収穫量が前年比5割増となりましたが、台風などの影響で他の作物は収穫量が減り、前年の収穫量と比較するとソバは5割減、でんぶん用バレイシヨとテンサイは2割減と厳しい結果となりました。今後、災害に強い農村づくりも必要となつてきますが、全ての農業において、さらなるコストの低減をいかにして図って行くかが、経営安定化の喫緊の課題となっております。

観光では、台風の影響もあり宿泊客が減少し、厳しい状況であります。しかしながら、訪日外国人観光客が増加傾向にあり、また、道の駅はこれも台風の影響と思われるかもしれませんが、入館者数が減少したものの売り上げは伸びており、一定の成果となりました。今後も成果を維持しつつ、観光をはじめ商工業にも良い方向へと進んでいけるよう期待するものであります。
また、今春には移転新築が進められております弟子屈消防庁舎が完成する予定となっており、消防体制の充実によりさらに安全なまちづくりに向けて整備が着実に進められる予定となっております。
今後とも町の発展のため、議会としても執行機関と連携を密にし、さまざまな課題の解決に努力を重ねてまいりたいと存じますので、町民皆さまの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町教育委員会 教育長 小林 俊 夫



新年あけましておめでどうございます。平成29年の輝かしい新春を迎え、心よりお喜び申し上げます。
町民の皆さまにおかれましては、本町の学校および地域の教育力向上や教育環境の整備推進のために、深いご理解と多大なるご協力を賜り、心から感謝申し上げます。本年におきましてもこれまでと同様、変わらぬご理解とご支援をお願い申し上げます。

さて、昨年は弟子屈町公民館開館50周年を迎え、公民館1階ロビーでの「なつかし写真館」、町民の皆さまと共に素晴らしい演奏に魅了された「記念コンサート」「公民館ミニコンサート」など、記念事業を行ってききました。学びを広げ、交流を深める社会教育活動の施設として、多くの町民の皆さまが集い、その活動を50年間支えていただいたことに深く感謝申し上げます。
児童生徒の活躍も光りました。弟子屈小学校吹奏楽少年団の2年連続全道大会出場、全道中学校かべ新聞コンクールで弟子屈中学校が「大賞」と特

さらに農業と観光の連携を推進することにより、経営の安定化を図ってまいります。
生活福祉では、快適な住環境整備を目指し公営住宅の整備を進めるとともに、保育料の補助、高校生までの医療費助成など、子育て世代の負担軽減を継続的に実施。さらには、高齢者が元気に生き生きと暮らすための生きがいづくり、介護予防を中心とした健康維持、支え合いの仕組みを構築したいと考えております。
また、新年度には弟子屈消防庁舎の移転が行われます。スムーズで迅速な出勤はもとより、団員の演習拠点、ドクターヘリの離発着場、防災備蓄スペースの確保など、総合的な防災拠点として機能を発揮する予定であります。
それぞれの施策実現のために、町民の皆さまの深いご理解・ご協力は決して欠かすことはできません。

年頭にあたって

沿線自治体と協議を進める方針を打ち出しており、今後、これらの対策に向けてさまざまな取り組みが必要となつてまいります。

結びになりませんが、新たな年が皆さまにとって、さらなる飛躍と充実の年でありませう、ご清祥とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のごあいさついたします。

実り多い1年を願って

教育委員会といたしましては、2月から新教育委員会制度に基づいてスタートするとともに、今後とも学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育むという本町の教育目標の具現化に向け、関係機関・団体との連携を一層強化しながら、児童・生徒の「生き生きがいと潤いある学びの環境づくり」に励んでまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げます。
結びに、本年が皆さまにとりまして、希望に満ちた実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます。